

船迫中



グループ組み装飾品作り

地域を結ぶラベンダー

船迫中学校では、地域との関わりを大切にしながらさまざまな活動に取り組んでいます。その一つ「ラベンダー活動」は2022年度に地域と学校の協働活動として文部科学大臣表彰を受けました。学校の校庭に、ラベンダーが162株あります。そこから刈り取り、ラベンダースティックやポプリを作ります。ラベンダースティックとは、花とリボンと一緒に編んだ香り豊かな装飾品です。作業は先輩と後輩、地域の方でグループを組

み、協力して行います。分からないことがあっても地域の方が優しく教えてくださるので、楽しく作業することが出来ます。活動を通して他の学年や地域の方と関わる機会が増え、とても有意義な時間となります。完成したラベンダースティックは近隣の施設や、お世話になった方々に配ります。ラベンダー活動の他にも、地域の方と竹を伐採して竹ぼうきをつくり、地域の清掃をする活動もあります。さまざまな活動を通して、地域の方と交流を深めています。

これがイチオシ きれいな桜 お気に入り

柴田町は自然にあふれ、季節ごとにたくさんの花に彩られます。町のイメージキャラクターは「はなみちゃん」という桜の妖精と柚子の妖精との間に生まれた妖精です。

船迫中学校から約3キロの船岡城址公園では、春に桜が満開になり、東北各地や外国からも多くの人が集まります。白石川の河川敷に広がる一目千本桜も一望でき、とてもきれいです。私たちもお気に入りの場所です。柴田町に来られた際にはぜひ、多くの自然や花から季節を感じてください。

学校名 柴田町立船迫中学校
所在地 宮城県柴田町西船迫4の1の2
創立 1987年
電話 0224(54)1225
校長 加藤 敏充
生徒 191人



前年度のラベンダー活動で地域住民(左)に助言をもらっている生徒たち

編集委員 吉田愛理、明間優摩、及川桃伽、菊地恵和 (3年)
荒谷優輝、明間駿徳、澁谷光優、村上皓祐 (2年)
指導教員 小野寺孝太、松野竜大、土生仁美

わが校わがまち スグール通信



次回は
秋保小 (仙台市)
岩沼北中 (岩沼市)

友好校から異文化を学ぶ

須江小

内モンゴルと国際交流

わたしたちの学校では例年11月、全学年を対象とした内モンゴル交流学習という国際理解の授業があります。内モンゴル自治区は中国の内陸北部にある地域で、須江小学校と18年前から交流を続けています。満州国の一部だった内モンゴル自治区北東部で、日本語を教えていた3人の女性の先生のうち1人が昭和期、石巻市須江地区に戻り、37年後にモンゴル人の教え子たちと再会したことから交流が始まりました。2005年、須江小と

中国内蒙古鄂温克旗第一实验小学が友好校になりました。以来、同校の子どもたちを須江小に招待し、全校で交流会をしました。一緒に昔の遊びや習字をしたり、折り紙でカエルを作ったりしました。モンゴルのみなさんから民族楽器をおくられたり、ダンスを披露してもらったりしました。須江小の校内には、いたいた衣装や工芸品などを展示しています。今でも交流や学習会が続いているのは、全国でもめずらしいそうです。



これがイチオシ あいさつで学校に元気

須江小学校には「あいさつ・はたらく・おもいやり」というめあてがあり、中でも特に「あいさつ」に力を入れています。

計画委員会が中心となって、全校であいさつ運動にも取り組みました。5、6年の計画委員は毎朝、しょうこう口で登校してくる児童に元気よくあいさつしています。

あいさつ運動のキャラクターの「ししまる」と「すえまる」も一緒にあいさつしていて、学校中、元気なあいさつでいっぱいです。

学校名 石巻市立須江小学校
所在地 宮城県石巻市須江代官43
創立 1873年
電話 0225(73)2344
校長 佐々木 淳
児童 215人



委員会の活動の二環(いっかん)として行った「内モンゴルウィーク」

編集委員 遠藤奏楽、木村匠杜、木村海叶、浄沼朋、斎藤優衣、桜田馳人、佐藤百合菜、杉山夏大、館田叶愛、松本伊吹 (6年)
指導教員 佐藤智美、小野ひより